

前澤工業(株)



バルブ事業本部埼玉製造所設計部主任

吉水 祐二さん

工学部 電子工学科卒
入社8年目

総合水処理メーカーとして高品質な製品を

前澤工業は上下水道施設の水処理設備や、上下水道の制御に欠かせない各種バルブやゲートの設計・製作・据付を手がけている総合水処理メーカーです。最近のトピックスとして、当社が開発に関わった、消費電力が少なく維持管理もしやすい汚水処理新技術「OD法」における二点DO制御システムが、人口減少が進む地方都市の汚水処理の持続性を向上させた点を評価され、2019年度「STI for SDGs」アワードの優秀賞を受賞しました。長年にわたって培った技術

力と、お客様のニーズをきめ細やかに製品に反映していく当社のスタンスが、この受賞につながったのだと思います。

ニーズに合わせた製品を設計

入社から設計部に所属しており、当初はバルブ、2年前からはゲートを担当しています。設計部の仕事は、見積もりやお客様に製品イメージを持ってもらうための参考図を示すところから、お客様からの注文を受けて製品の細部まで設計する実施設計、工場の製作部門への製作指示書や完成図書の作成など、製造の上流工程となります。

思い出に残っている仕事は、入社3年目に当社

が初めて手がけることとなったエンジニアリングの達成感が一番大層だった案件です。また、全

ではあったものの、色々な課題やトラブルがあり、非常に苦労しましたが、設計者としても社会



臨機応変に設計し高品質な製品を

お客様のニーズに応える製品設計

使用する部品一つ一つにロジックを

人としても様々な経験を積む事ができた仕事でした。工事が完了した時の達成感が一番大層だった案件です。また、全

「据え付けしやすい」との評価で自信

「据え付けしやすい」との評価で自信
設計の際には、「なぜその部品を使うのか」という明確なロジックを持つように心がけています。当社は80年以上の歴史があり、先人が築き上げてきた高い技術力、ノウハウを活用すれば、機械的に仕事を進めることもできますが、そうしますと現場ごとに異なる多様なニーズに添えていくことができません。臨機応変に考えて設計することが高品質な製品の提供につながっていると考えており、「前澤さんの製品は据え付けしやすい」「しっかりと水が止まる」などと言われたときは、この考え方は間違っていないかなどと自信につながりました。